



創立1949年（昭和24年） 高松中学校は今年度で76周年を迎えました。

ザクロ(柘榴)の魂

港区の資料より、港区立全中学校10校の敷地面積の平均12,802m²に対し、本校は25,627m²。正門を入れて右側に森が広がっていますが、航空写真で見ると敷地の約1/3が自然豊かな「高松の森」です。「校舎・校庭」と「森」のどちらも大変に広いことがわかります。この森の入口付近にザクロの木があります。ちょうど今、少し小さなリンゴのような果実をたくさんつけています。

生徒会が中心となり、このザクロを収穫して地域の方に配ろうという計画（「ザクロプロジェクト」）を立て、実行しました。高輪総合支所にも協力を依頼し、ポスターを掲示していただきました。当日はお越しいただいた地域の方々に、「高松の森」産のザクロを渡すことができました。一学期にはあじさいの咲いているところを「あじさいロード」として地域の方に開放しましたが、その時には、見学者が歩きやすいようにと、生徒会が地面にたくさんのウッドチップを敷きました。

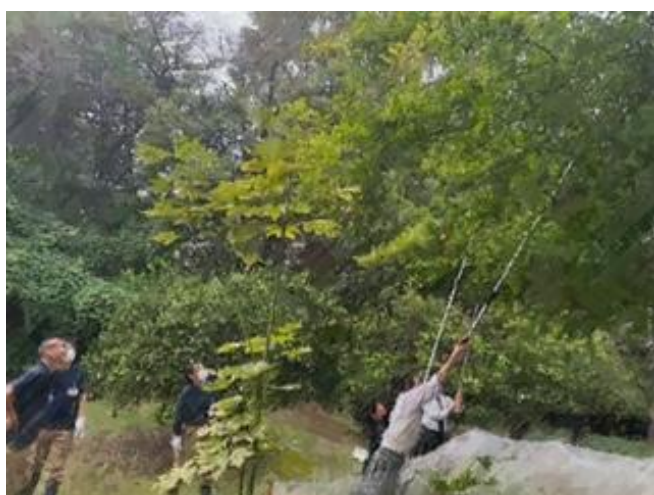
このように「高松の森」を学校と地域の共有できる宝物として大切にしていきたいと考えています。

さて、ザクロについては割れた果実中の種子の周りにある部分を食べると美味しいことくらいしか知りませんでした。そこで、これを機にザクロという植物について調べてみました。（生成 AI はこういう時本当に便利です。すぐにいろいろな情報を教えてくれます）

- ・ザクロの原産は中東であり、日本には平安時代ごろ伝わってきた
- ・原産地の中東にはザクロを題材にした民謡がある
- ・割れるザクロが、声の爆発、感情の解放を象徴している
- ・無数に詰まった種子一つ一つが声の粒子、言葉の断片として、それらが集まって歌になることを象徴している

歌にまつわる象徴の多いザクロですが、今月18日は本校の「合唱コンクール」です。生徒たちには、このような「ザクロの魂」を感じさせる合唱を期待しています。

そういえば、本校を出てから、品川駅の方へ下る道は「柘榴坂」という名の坂になっています。ここ高輪の町には昔からザクロとの縁が多く見られたのかもしれません。



港区立高松中学校 X（旧 Twitter）

学校生活のようすなどを X にて発信しています。
学校 HP の学校ブログと合わせてご覧ください。